注意: **この説明は、ALON Dictaphoneの全ての拡張機能を含むバージョンに対するものです。**
拡張機能は以下の通りです。

- **オーディオメモを共有する**
- **上級オーディオパック**
- **複数を選択**
- **ブックマーク**
- **カテゴリ**
- **再生スピード 可変**
- **上書き、追加**
- **広告の削除。**

設定>拡張機能.の「アプリ内購入」を通して必要な拡張機能を取得することができます

ALON Dictaphone....1
取扱説明書....1
１．はじめに....2
２．インターフェイス概要....2
３．録音....3
4. カテゴリ....14
５．ツール....15
6. プレイ状態....23
7. ブックマーク....24
8. iCloud....26
9. 詳細設定....28

ALON Dictaphone

取扱説明書

ALON Dictaphoneをお選び頂き有難うございます!我々の商品をお気に召して頂き、有用にご利用頂けることを願っております。 ALON Dictaphoneの品質向上のため、ご意見等御座いましたら喜んでお聞きさせて頂きたく存じま

す。我々のサポートチーム**support@alonsoftware.com**までご連絡下さい。

１．はじめに

ALON
Dictaphoneではｍｐ３とwavオーディオ形式での録音が可能です。簡単にiPhone/iPad/iPodを高度なデジタルボイスレコーダーとして利用し、講義や会話、インタビューを録音し初め、録音した音声をSoundCloud, Dropbox, Google Drive、SkyDrive, Box, FTPサーバに送信、またはiTunes やWi-Fiにてノートパソコンに直接コピーすることができます。また、音声記録をEメールで送信することもできます。

すべての音声記録はグループにて整理することができます。いつでも新しいグループの追加、録音記録の対応するグループへの転送、グループの除外が可能です。

どの録音トラックでも追加録音機能により録音を継続したり、録音トラックのどの部分でも簡単に上書きすることができます。

録音中に「沈黙」に対してフィルタをかけることができます（音声起動）。

プレイバック中だけでなく録音中にも用意にブックマークを追加することができます。

２．インターフェイス概要

メインウィンドウはトップナビゲーションバー、トラックリスト(録音記録リスト)そしてメディアボタンによって構成されています。
トップナビゲーションバーはのボタンは以下の用途に利用します。（左から右へ）

1. 「設定」を開く。
2. ツールバーを開く。
3. 追加・上書きモードを設定する。
4. シェア（のみiPad用）
5. 現在のカテゴリを表示し、カテゴリウィンドウに移し、別のカテゴリを選べるようにする。

トラックリストはそれぞれのトラックのトラック名、時間、作成日、拡張子とサイズを示します。

これらの値のそれぞれにつき、トラックリストを整理するには “設定->リスト ->リスト並べ替え”を選択します。

メディアボタンを使うとトラックリスト内の検索、選択したトラックのプレイバック、録音の作成ができます。

それぞれのトラックにはブックマークボタンがあります。ブックマークボタンを利用するとブックマークウィンドウを開き、ブックマークに関する作業を行うことが出来ます。

3．録音

録音ボタンには 3 つの状態があります。一つ目の状態は継続した録音に使います。このボタンを押すたびに新規トラックが作成されます。ウィンドウは以下のように表示されます。

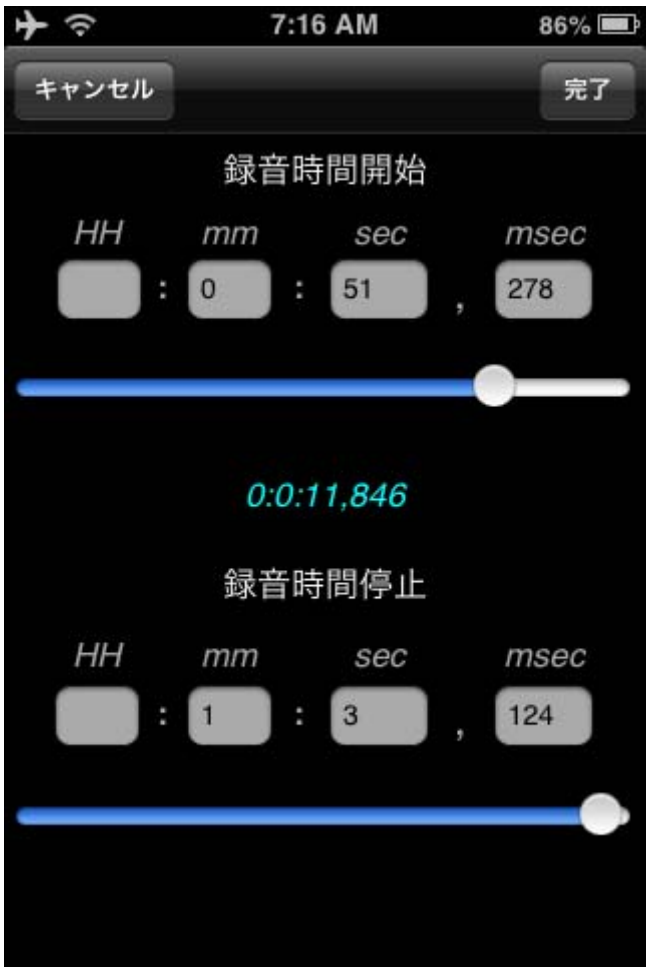
二つ目の状態は新しい録音を既存のトラックに追加する場合に利用します。この状態を作成するにはトップナビゲーションバーの ボタンを押します。この状態である場合はレコーダーは新規録音を追加します。このレコーダーの状態は以下に示される通りです。

トラックを部分的に上書きするには、以下の図に示されるようにポジションを指定します。

音声ファイルの一部を編集するには、音声ファイル編集用のインターバル
(音声ファイルの赤い部分)
を希望の長さに調整します。その後、ナビゲーションバーの左上にあるボタンを押します (以下の画像をご覧ください)。

音声ファイルの一部を削除するには、インターバルを希望の長さに調整します (音声ファイルの赤い部分が削除されます)。それから、ナビゲーションバーの上から2番目にあるボタンを押します (以下の画像をご覧ください)。

ためには正確にあなたが表示されている時間をタップすると次のウィンドウを取得する必要があります上書きする時間を調整するには：



最後の、三つ目の状態は録音中に沈黙をフィルタするために使います。この機能をオンにするには、 “設定->メイン->詳細設定を開く->制限レベル録音起動”を選択し、スイッチを「オン」に設定します。この状態ではスライダーを使って“制限レベル録音起動”をすることができます。より静かな音声を「沈黙」と判断し、録音を一時停止する機会が与えられます。スライダーが一番左に配置されていると、沈黙がほとんど無い状態になります（一つ目の録音状態と同じような状態です）。ウィンドウは以下の図の様になります。

これらの録音状態全てにつき、“設定->メイン->詳細設定を開く->録音ゲイン設定”にて録音ゲインを設定することができます。このオプションはより大きな音量で沈黙音を録音することができます。逆に録音内で音声の音量も大きくなります。スライダーの左端の位置は自動ゲインレベルに対応します。

注意：
“制限レベル録音起動”は“録音ゲイン設定”によります。これは“制限レベル録音起動”使用中に“録音ゲイン設定”を変更すると“制限レベル録音起動”値を調整しなければならないということです。

録音形式は “設定->メイン->詳細...”から選べます:

録音テンプレートは “設定->メイン->録音テンプレート”から変更できます。

デバイスに合った外付けマイクを使うとステレオ録音が可能になります。
注意：一部のMP３ステレオフォーマットではアプリケーションごとに現行サンプルレートをセーブするためにサンプルレートを小さくすること（リサンプル）ができます。

WAVオーディオ形式では３２ビットでの録音ができます。

録音トラックに新規名を設定する必要がある場合、下図のように、"保存したダイアログを表示する" オプションを[ON]に設定

してください:

下図のような保存ウィンドウが表示されます:

タイマー設定で録音時間を指定できます。この設定オプションを見つけるには、　設定　> タイマー録音を停止するへ進んでくだ
さい。

4. カテゴリ

カテゴリウィンドウを表示するには右のトップナビゲーションボタンを押します。カテゴリウィンドウは以下の様に表示されます。

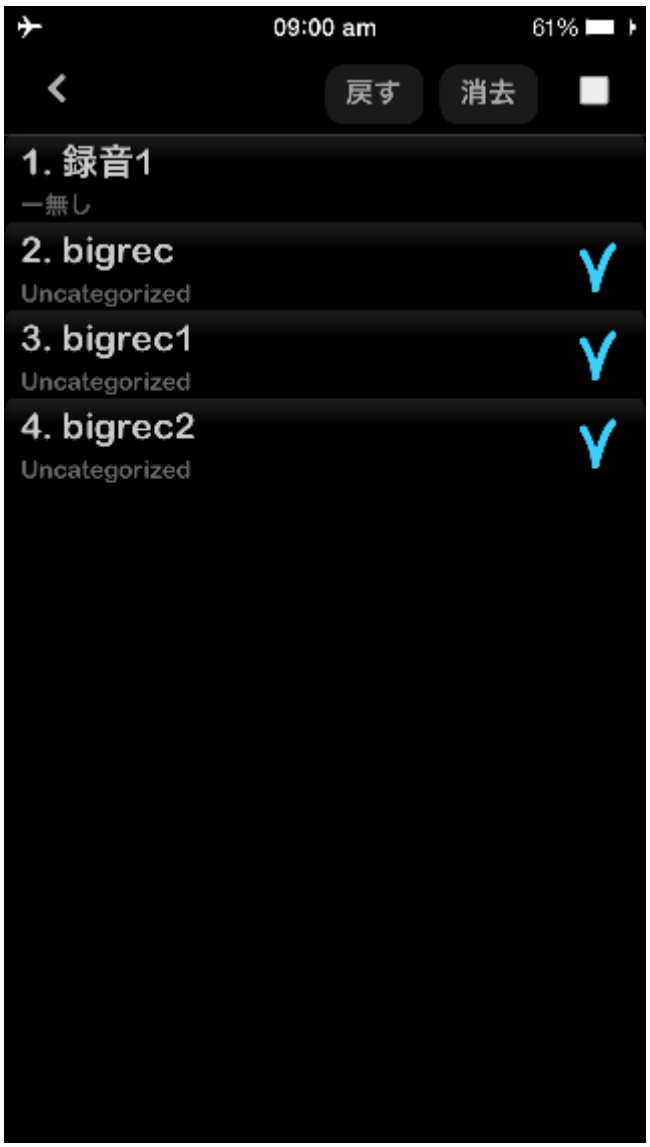
このウィンドウでは新規カテゴリを追加し、既存のものを除外できます。それぞれのカテゴリには登録トラック数が表示されます。変更不可なカテゴリが二つ存在します。
“全て” と “一無し”です。カテゴリを一回タッチすると選択カテゴリに移ります。

5 . ツール

ツールボタンはツールバーを表示します。この状態では除外、名前の変更、共有、移動等トラックの作業が出来ます。それに加えて、あなたは、他のアプリケーション内から任意のトラックを開くことができます。ツールウィンドウは以下の様に表示されます。

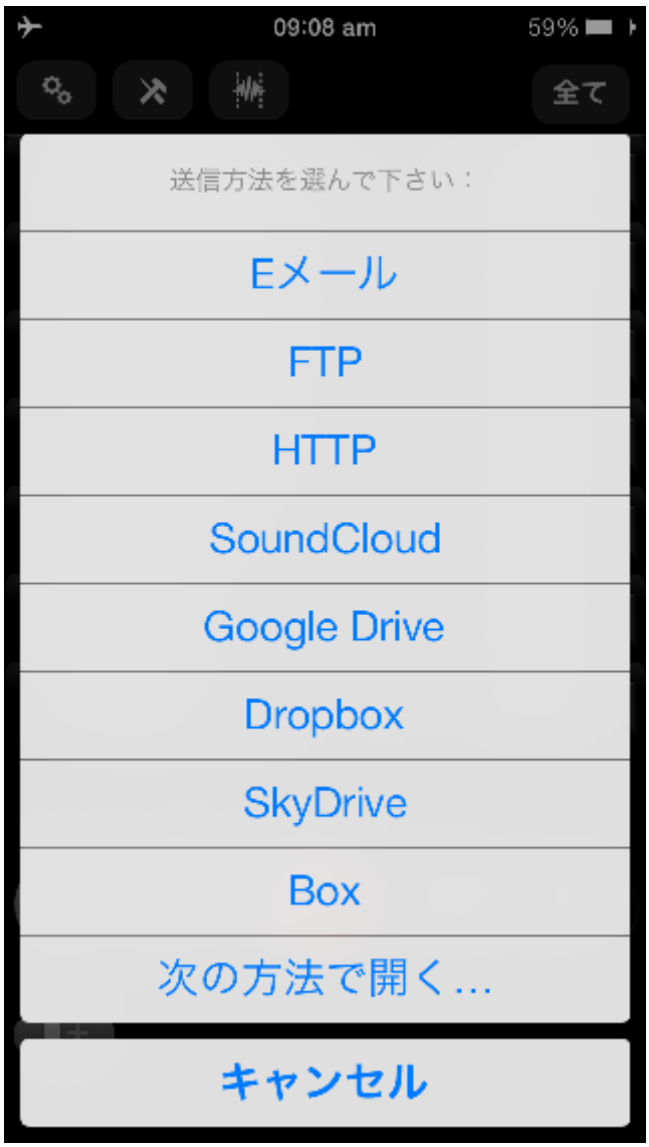
ツールバーには5つのボタンがあります。（左から右へ）

1. トラック除外。
   削除済みトラックは、カテゴリ >
   削除されたで管理できます。ここで削除済みトラックを元に戻す、または、デバイスから完
   全に消去することができます。



2. トラック名変更。

3. トラックをEメールFTPサーバ/SoundCloud/Dropbox/Google Drive/SkyDrive/BoxまたはHTTPサーバに送信。別のアプリケーションで開きます。



希望する方法は“設定->送信”から設定できます。この場合、プログラムはトラック送信のための方法を選択するように促すことをしません。

注意：トラックを送信を開始する前に対応する送信方法に必要な情報を設定します。**“設定->送信”から設定できます。**

３つの送信先メールアドレスまで指定できます。

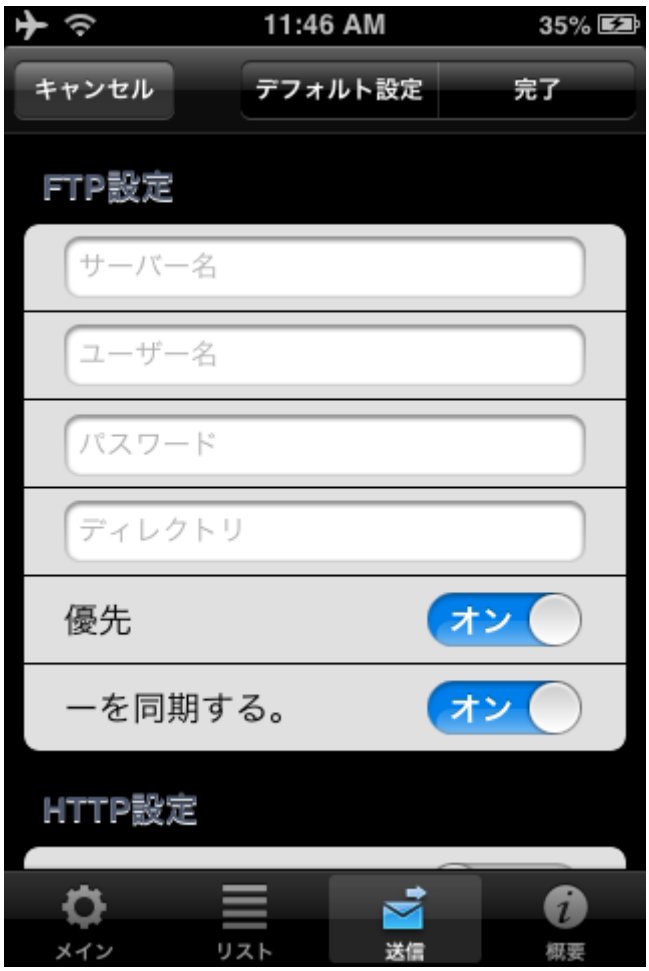
送信トラックの大きさが「スプリットサイズ」を超える場合、トラックは部分ごとに送信されます。「スプリットサイズ」は “設定->送信”で設定できます。
注意：設定で“分割なし”を選択するとどのトラックでもEメールに添付できる上に複数のレターを一度に送信できます。しかし、この場合全てのレターの大きさの合計、あるいは一つのレターの大きさがサーバに許容されるものより大きい場合エラーが発生する

可能性があります。

FTPサーバへのアップロード

以下の項目を記入します。

1. サーバ名
2. ユーザ名
3. パスワード
4. ディレクトリ(任意)



“ーを同期する。”
オプションを選択すると全てのトラックはFTPサーバにて対応するカテゴリにデバイスと同じように保存されます。

iTunesから録音記録を取得する:

録音記録はは「Documents」という名前の ALON Dictaphoneディレクトリに保存されます。iTunesからこのディレクトリに簡単にアクセスすることができます。

1. デバイスをiTunesと同期する。
2. 左の欄からデバイスを選択する。
3.ウィンドウ上部のアプリタブを選択する。
4. 下にスクロールすると「ファイルシェア」タイトルが表示されます。

HTTPから録音記録を取得する:

この場合、ノートパソコンの利用するネットワークにWi-

Fi接続する必要があります。HTTP同期を選択した場合はURLをブラウザに入力します。URLは同期ウィンドウに表示されます。

SoundCloudにアップロードする:

トラックをアップロードするには“SoundCloud設定” (“送信 tab”)にて許可を作成します。したがって、すでにSoundCloudアカウントを所持していることが前提となります。

“SoundCloud設定”内の“公共”スイッチを利用してトラックを公共、あるいはプライベートとしてアップロードできます。

Dropbox/Google Drive/SkyDrive/Boxにアップロードする:

トラックをアップロードするには“Dropbox/Google drive/SkyDrive/Box設定” “送信 tab”)にて許可を作成します。したがって、すでにa Dropbox/Google

Drive/SkyDrive/Boxアカウントを所持していることが前提となります。

送信操作を停止するにはナビゲーションバーの「ツール」ボタンを選択し、ツールバー内の「送信停止」ボタンを押します。

4. 別のアプリケーションで開きます。

5. トラックを別カテゴリに移動する

注意：“全て” カテゴリから移動することはできません。

メインウィンドウから全ての操作にアクセスすることができます。環境メニューを表示するには表示したいトラックをクリックして押さえます。

6. プレイ状態

トラックリストの再生方法は“設定->リスト ->リストの再生方法”から指定できます。
5 つの位置があります。

1. １トラック – 一つのトラックを再生して停止。
2. リスト– リストを再生して停止。
3. トラックループ– 一つのトラックを最後まで再生し、再び再生。
4. リストループ- リストを最後まで再生し、再び再生。
5. ランダム- 再生トラックをランダムに選択。

タイマー設定で再生時間も指定できます。この設定オプションを見つけるには、設定 > タイマー再生を停止するへ進んでくだ

さい。

7. ブックマーク

「停止・録音・再生」状態からトラックのブックマークをセットできます。「ブックマーク追加」ウィンドウは以下の様に表示されます。

ブックマークのあるトラックはメインリストに記されます。トラックのブックマークを選択すると以下のようなウィンドウが表示されます。

どのブックマークからでもプレイバックができます。あるいは、このウィンドウにてブックマークからのプレイバック経路を準備します。
このプレイバック経路は選択されたチェックボックスから構成されます。ブックマークの順番は任意に変更できます。

注意 ブックマークのチェックボックスにチェックを入れると、そのブックマーク(シングルトラック) が繰り返し再生されます。選択ブックマークが複数ある場合、そのすべてのブックマークが繰り返し再生されます。

8. iCloud

詳細設定とカテゴリはiCloudで同期できます。

このオプションが「オン」になっていると「リスト　　タブ」や「送信タブ」等の設定はカテゴリと共にiCloud経由で同期されます。

注意１iCloudオフ状態で「送信タブ」で設定をした場合、このオプションをオンにすると、現在の設定を上書きするか問われます。（iCloud 「送信 タブ」の設定とデバイス「送信 タブ」の設定が異なる場合）。

注意２：iCloudにデバイスにはないカテゴリが複数存在する場合、"iCloud"オプションをオンにするとこれらのカテゴリがデバイスのカテゴリは除外せずに現在のカテゴリに追加されます。

注意２：「 詳細設定」設定はiCloud経由で同期されません。

9. 詳細設定

ここでは、音声フォーマットや録音レベルや録音帯域などを思いのままに調節することができます。「拡張モード」をオンにすると、録音中に録音レベルと録音帯域が変更でき、同じく再生時には「音量」と「バランス」が利用可能になります。メイン画面はこちらの通り：

キャリア
10:40 PM
1. 録音10
2013-08-29 12:56:56 / 75.93 Mb
07:10
2. 録音11
2013-02-11 22:14:15 / 1.32 Mb
01:22
3. 録音12
2013-02-11 22:53:34 / 32.18 Mb
33:31
4. 録音13
2013-02-12 17:02:47 / 8.28 Mb
08:37
5. 録音180
2013-08-30 09:13:49 / 30.89 Mb
12:52
録音180
7:26:21
0
50%
320 kbps 48 kHz ステレオ
x1